

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者・家族の意向反映が基本となるが、代弁者の華族が主体となってしまう事が多い。コロナ禍で、本人家族共同の機会が減っており、本人の思いに沿った生活を支えていく事にも支障が出てきている。	コロナ禍で制限があっても、本人・家族の意向を第一に支援を行う。	・運営推進会議やS担が随時行えない中、状況報告に意見や意向を文章やオンラインで取り入れる方法を随時実施。 ・本人と寄り添い、意向や思いを確認する時間を確保する。	6ヶ月
2	40	食事は楽しめる数少ない取り組みであり、生きていくのに欠かせない。副食を外部委託しており、管理栄養的には良好であるが、食事を楽しむ一連のプロセスに欠ける。	コロナ禍で制限があっても、食べる事を楽しむ為の新たな取り組みを行う。	・食事内容等に本人家族の意向を随時取り入れる。 ・季節の行事食を増やす。 ・食事全体が利用者との共同作業(手作り)として増えるように取り組む。	12ヶ月
3	28	GHでの生活・QOLが良くなるように、支援の輪が広がりケアに活かせるようになる。	GHで多様なサービスを取り入れ、生活の質やQOLが良くなる。	・訪問診療等介護保険以外の支援を充実さす。 ・事業所としてカフェ等を行い、ご利用者のフィールドの充実を目指す。 ・コロナ禍であるが、随時オンラインの活用等考え、多様なサービスの選択肢を増やす。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。